

授業科目名・形態	児童・家庭福祉論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	中里 操	実務経験の有無	無	開講期	2年前期

### 【授業の主題】

近年、我が国では子どもが事件に巻き込まれるケースや、いじめによる自殺や不登校が増加している。児童相談所に寄せられる児童虐待の相談も増えている。すべての子ども達が、安心して過ごせる居場所が少ないのかも知れない。社会福祉の問題は、姿を変えて一番弱い部分に現れる。授業では、子どもと家庭・地域社会の現状と課題に対する支援制度を学ぶ。

### 【到達目標】

1. 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、児童福祉・子育ての福祉ニーズについて理解する。
2. 児童・家庭福祉制度の発展過程をについて理解する。
3. 児童の生活・発達保障の権利と児童福祉制度・施策について理解する。
4. 相談援助活動に必要な児童・家庭福祉制度や関連する他の法制度について理解する。

### 【授業計画・内容】

- 第1回 子ども・家庭福祉とは
- 第2回 子ども家庭福祉の原理と権利、児童・家庭福祉の発展過程①（海外の児童観と児童政策の変遷）
- 第3回 子ども家庭福祉の原理と権利、児童・家庭福祉の発展過程②（日本の児童観と児童政策の変遷）
- 第4回 子ども家庭福祉の原理と権利、児童・家庭福祉の発展過程③（現代社会と子ども・家庭福祉）
- 第5回 児童福祉法と関連する法制度、実施体制と財政
- 第6回 子ども・家庭福祉制度における専門職と他職種連携
- 第7回 子ども・家庭が抱える問題と対策①（子どもの貧困）
- 第8回 子ども・家庭が抱える問題と対策②（障害・難病児童と家族）
- 第9回 子ども・家庭が抱える問題と対策③（非行児童・情緒障害児支援）
- 第10回 子ども・家庭が抱える問題と対策④（児童虐待問題と対策）
- 第11回 子ども・家庭が抱える問題と対策⑤（一人親家庭の福祉）
- 第12回 子どもの成長発達と環境保障①（私的責任と社会的責任、社会的養護）
- 第13回 子どもの成長発達と環境保障②（保育所、学童保育所）
- 第14回 子どもの成長発達と環境保障③（健全育成と児童館、地域子ども会とネットワーク）
- 第15回 子どもと家庭に関わる女性福祉（女性福祉の歴史と婦人保護事業）

### 【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。

### 【授業準備】

前回の講義内容を復習する。講義予定内容を読み、専門用語など解らないこと、疑問点などを整理しておく。講義中に取り上げたテーマなどを自ら文献に当たるなどして確認する。児童福祉関連のニュースに関心を寄せ、自分なりの理解と説明ができる状態で主体的に学習の準備をする。

### 【主な関連する科目】

障害児・者の福祉、社会福祉概論

### 【教科書等】

新・社会福祉士養成講座『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』第7版 中央法規出版

### 【参考資料、文献】

ビデオ資料等紹介、貸し出しする。

### 【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 10%、提出レポート 30%、期末試験の成績 60%の総合評価とする。

### 【学生へのメッセージ】

子どもたちの成長を支える社会システムの構築に向けた基盤となる科目です。自分の生活に重ね合わせながら、地域社会の中で起きている児童問題に関心を寄せてください。子どもに体現する事象の奥にある、見えない福祉要因を探ってください。通年で学ぶ内容を半期で学修するため、学生子ども・家庭福祉問題に対する関心と事前学修が大切です。児童福祉分野、保育士資格を目指す人の積極的学修を期待します。ビデオ教材によるレポートがあります。事象を受け止め考える力を育ててください。